新年あけましておめでとうございます。輝かしい平成十年の新春にあたり、皆様のご健勝をお喜び申し上げます。

昨年は、大変厳しい財政状況の中での船出となりましたが、市民の皆様の温かいご理解とご協力のもと、順調に市政を運営することができました。心から感謝を申し上げたいと思います。

さて本年は、いよいよ「全国都市緑化にいがたフェア」本番の年です。「緑いっぱいのまち、花いっぱいのまちで暮らしに潤いと安らぎを」という願いが込められたこのイベントは、数えて今年で十五年目を迎え、八月一日から七十九日間にわたって金津丘陵を舞台に繰り広げられます。

すでに前売り券を手にされた皆様もおられるかと思いますが、新津会場に訪れるお客様は、ざっと三十万人と見込んでいます。市内はもとより、市外・県外も含めてこれだけ多くのお客様が新津の地を踏まれるわけですから、お客様からは、気持ち良く帰途についていただきたいと願っています。

幸いにして当市には、日頃から培った「歓迎」と「美しいまちづくり」の気風が、しっかりと根付いています。誠に心強いものを感じているところです。

皆様も実感されていることと思いますが、いま時代は、激しく揺れ動いています。そして、こうした混沌とした世相であればあるほど人々の心を優しく耕してくれるのは、いつの世も「ほっとする文化」です。

緑や花は、洋の東西を問わず、またどんな時代にあっても、不思議な温かみをもって私たちに安らぎや感動を与え続けてきました。この緑化フェアを契機に、毎日の暮らしのなかに緑や花を愛でるほっとする生活文化が定着したら、きっと素晴らしい二十一世紀が待ち受けているような気がしてなりません。

本年も、市民の皆様とともに力を合わせて、明るいまち、元気なまちを目指してまいりたいと思います。皆様の旧に倍するご支援、ご協力をお願い申し上げ、年頭のごあいさつとします。

21世紀への飛躍台
都市緑化フェア

新津市長 **小林一三**

平成10年 元日
新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。年頭にあたり、市民の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

わが国は今、真に心の豊かさを実感できる社会をめざし、戦後五十年間にわたって形づくられた社会経済制度の改革を掲げて、さまざまな分野で取り組みがなされています。しかし、動き出した改革の波は私たちの予想をはるかに越えるスピードで押し寄せ、社会の対応能力を越えるものになっているように思います。

本年は、これらの変革がさらに進むことは確実です。

今流した汗が二十一世紀に豊かな社会となって実を結ぶためにも、議会といたしましては、現実を見据えつつ現象面のみに流されない正確な視点で市政を見つめてまいりたいと考えております。

このような意味から本年は、「ディスクロージャー」すなわち透明性の向上が、より重要になってくると認識しております。

市民感覚という尺度が今まで以上に大切にされると同時に、透明性の向上と相まって、市民の皆様のまちづくりへの一層の参画が求められてまいります。

八月から全国都市緑化にいがたフェアが開催され、全国から多くの人々が新津市においでになります。フェアの成功に向け市民の皆様のご協力をお願いいたしますとともに、市議会といたしましては、市民皆様方のご期待に応えるよう決意を新たにしておりますので、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申しあげ新年のごあいさつといたします。

より透明性のある議会を

新津市議会議長 **奥村隆男**

お買物、ご用命は市内で

NO.1には理由がある
入院給付金のお支払い総額 生命保険業界ナンバーワン NO.1
がん治療を経済的にバックアップ
スーパーがん保険
アメリカンファミリーのがん保険シェアは 90%
保険料は1日あたり 73円
(30歳・個人契約月払(スーパーがん保険)1口2,190円)
新津地区募集代理店 新津法人会厚生制度推進員
L保険企画
長瀬安子
TEL(0250)22-2202
FAX(0250)22-3065
(登録番号) AF54-6-004
AFLAC アメリカンファミリー生命保険会社

只今BSNテレビ宣伝中 水曜 夜7:00
西川産業の健康敷布団 ドクターセラ
TOKYO 温熱療法 電位療法
ふとんの新保
本町2丁目10-27 ☎(22)0808

1998年 今年は寅年です

今年は寅年。虎は干支の三番目、食肉目ネコ科の動物です。ライオンが「アフリカの百獣の王」なら、虎は「アジアの百獣の王」です。ウスリー(ロシアと中国の国境地帯)や中国大陸、朝鮮半島、東南アジアなど、温帯から熱帯地方にかけて広く生息していますが、日本列島には野生の虎はいません。

日本の文献に初めて虎が登場したのは「日本書紀」で、欽明天皇の六年(五四五年)に、百済で虎退治をして、その皮を日本に持ち帰った人がいるということが記されています。

生きた虎が日本に来たのは寛平二年(八九〇年)といわれ、その後、江戸時代には虎は見せ物として江戸・大阪などを回っていたようです。

多くの人が虎を見られるようになったのは、動物園が普及するようになってからです。しかし、虎はことわざなどによく登場し、昔から親しまれています。

誰でも知っている「虎の子」は、大切なもの、秘蔵のものということ。「虎穴に入らずんば虎児を得ず」も、虎の子が貴重なものという意味から、危険を冒さなければ(虎の住んでいる穴に入らなければ)成功は得られないということです。

「虎刈り」は丸刈りがはやらなくなったので、最近はあまり見かけません。「虎の巻」は、もともとは兵法の秘伝を記じた書物のこと。以前は学生さんなどが参考書などをこう呼んだものですが、この言葉もはやらなくなりました。

また、虎は強いもの。恐ろしいものの例えにもよく使われます。「虎視眈々」「虎の威をかる狐」「虎の尾を踏む」「虎は千里往って千里還る」「虎は飢えても死肉を食わず」「虎は死して皮を残す」など、枚挙にいとまがありません。ただし、酔っ払いの大トラはいただけませんね。

歳時記 初夢

初夢に古郷を見て涙哉
一茶(寛政句帳)

初夢は正月に初めて見る夢ということは誰でも知っています。

さて、あたなは初夢をいつ見ますか。元旦の朝ですか。二日の朝ですか。これ、実は時代により、また家によっても違っているようです。

室町時代には、元旦の暁の夢だったとか、江戸時代は二日の朝の夢だったともいわれています。江戸の商家などでは大晦日は除夜の鐘まで起きているので、二日の夜の夢が初夢だったのでしょうか。また、古くは立春の朝の夢を初夢としたようです。

初夢合わせなどといって、初夢で吉兆を占う風習は古くからあったようです。江戸では宝舟売りが、いい初夢を見るようにと宝船の絵を売り歩いていました。獏枕といって夢を食うとされる動物…ばくの絵を枕の下に置いて悪夢を食わせる風習もありました。インターネットで情報のやりとりをする時代ですが、一方不透明の時代でもあるので、若者の間で占いが流行とか。若者も初夢占いをするのでしょうか。

お買物、ご用命は市内で

壁紙・ふすま・しょうじ貼替でリフレッシュしてみませんか!
ふすま1枚2500円より 壁紙1M1300円より
建設業県知事許可(般—8)第26247号
一級技能士 職業訓練指導員免許
熊木室内装飾 中沢町3—3 TEL・FAX 23—3510